

ハイフローセラピーと離床の併用効果

Yuichi Sakaguchi et al. Combination Therapy of High-flow Nasal Cannula and Upper-body Elevation for Postoperative Sleep-disordered Breathing. *Anesthesiology*. 2022 Jul 1;137(1):15-27.

睡眠時無呼吸症候群（SAS）に対して、持続的陽圧換気療法（CPAP）が有効ですが、装着の圧迫感や音の大きさなどから、使用率が低いことが問題となっています。そんな SAS に対する、CPAP に替わる治療の可能性として、ハイフローセラピーと離床の併用に関する、興味深い報告が届きました。

この研究では、SAS 患者さんに対して、ハイフローセラピーとヘッドアップを併用し、介入した効果を検討しています。その結果、ハイフローセラピーとヘッドアップを併用すると、ハイフローセラピー単独やヘッドアップ単独と比べて、無呼吸指数と夜間の酸素化を有意に改善したということです。術後や心不全患者さんにも多い、睡眠時無呼吸症候群に対して、継続使用に有用なアプローチになる可能性があると感じる研究です。